

「広島神楽」定期公演へようこそ!

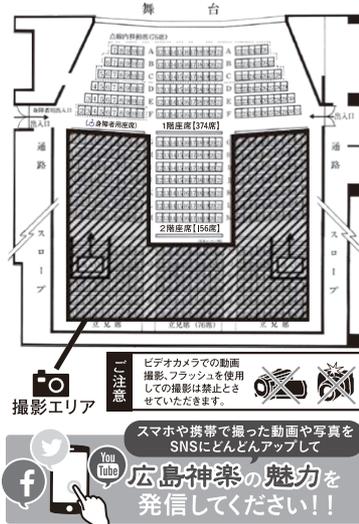
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



11月29日のタイムスケジュール

出演：茂田神楽団（三次市）

19:00～開演

19:05～第一幕『戻り橋』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『滝夜叉姫』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

もだかぐらだん

茂田神楽団プロフィール ～三次市君田～

三次市君田町(旧君田村)茂田地区では、おおよそ170年以前、出雲石見地方より神楽を習い伝承してきました。茂田地区では古くから砂鉄採取が盛んに行われ、砂鉄労働者の安全祈願と農家の五穀豊穡を願い奉納されてきました。昭和48年頃には戸数も減り、後継者不足のため、神楽存続が出来なくなり、村内一円で団員を募り「君田村茂田神楽団」と団名を改め、存続して参りました。その後三次市との合併により、「茂田神楽団」として団員一同心を新たにがんばっております。

また、一昨年、県知事より広島県地域文化功労者賞の受賞にあずかり、心より名誉に思っております。これからも地域文化発展のため、がんばって参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

第一幕『戻り橋』(もどりばし)

大江山に棲む酒呑童子(しゅてんどうじ)の手下、茨木童子(いばらぎどうじ)は夜ごと都人に化相し、戻り橋あたりに出没しては、都民たちに災いをかけます。

都の守・源頼光(みなもとのらいこう)の家人、渡辺綱(わたなべのつな)が主命を受けて征伐に向かいます。茨木童子は女人に化相し、通りかかった傘売りの善兵衛(ぜんべえ)に、傘を買うからと言って近寄ると、いきなり鬼の正体を現します。折しも渡辺綱が通ると再び女人に化相して京の五条まで連れて行ってほしいと頼みます。道すがら川面に映った女人は鬼の姿でした。

魔術を使う鬼は、襲いかかり綱を倒します。そこに岩清水の神の弊を持った坂田金時(さかたのきんとき)が加勢し、鬼の左腕を切り落とすものの、鬼は北の空へと逃げ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 小前 晋一朗	渡辺綱 … 茶木 篤紀	茨木童子 … 久山 浩則
	小太鼓 … 小滝 達也	坂田金時 … 角先 由介	茨木童子化相 … 増原 英伸
	手打鉦 … 田中 孝司	傘売り善兵衛 … 藤原 克己	(女人)
	笛 … 前田 奈穂		

第二幕『滝夜叉姫』(たきやしやひめ)

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総(しもふさ)の国・相馬(そうま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 小前 晋一朗	大宅中将光圀 … 谷口 裕則	五月姫 … 増原 英伸
	小太鼓 … 田中 孝司	山城光成 … 小滝 達也	夜叉丸 … 正光 白
	手打鉦 … 佐々木 雅美		蜘蛛丸 … 久山 浩則
	笛 … 浅井 千秋		